



洗心

令和5年度修了式号

令和6年3月22日発行

発行所
近畿大学附属
新宮高等学校
中学校

新宮市新宮 4966 番地

義務教育修了 おめでとう

校長 池上 博基

すっかり春らしくなりました。

近畿大学附属新宮中学校 第三十一回目の修了生の皆さん、義務教育の修了おめでとうございます。三年間、お疲れさまでした。

本日は、ご多用のところ、ご来賓としてご臨席いただきました保護者会会長 小倉二利様をはじめ保護者会三役の皆様、誠にありがとうございます。

保護者の皆様、お子様の義務教育修了、おめでとうございます。心身ともに急激に成長する三年間、子供たちは様々な困難を乗り越え、心も体も立派に成長しました。この成長した姿に対し、教職員一同、心からお喜びを申し上げます。また、三年間本校にご支援・ご協力いただきましたことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、修了生の皆さん、義務教育を修了するにあたり、二つお話しさせていただきます。

一つ目は、「義務教育」についてです。義務教育とは、将来、社会に出て、幸せに生きていけるように、基礎的な能力の育成、人格の形成を行う、小学校・中学校の九年間をいいます。教育基本法第5条で

「国民は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、普通教育を受けさせる義務を負う。」と規定しています。ここで大切なことは、義務教育の「義務」は「子どもが教育を受ける義務」ではなく、「保護者が子どもに教育を受けさせる義務」ということです。言い換えれば、生徒の皆さんのために保護者が、勉強する環境を準備し、お世話してくれるということです。

そのような視点から考えると、義務教育修了式は、修了生に対し、「義務教育修了おめでとう」というと同時に、修了生が保護者に「これまで教育を受けさせていただいてありがとうございました」とお礼を言う日であるとも言えます。

これから始まる高校教育は義務教育ではありません。国も保護者も、周りの人々も皆さんに対し、教育を受けさせる義務もありません。周りの人々の助けを借りる「学び、習うという学習スタイル」から、自分で学び、自分が問うという「主体的な学問スタイル」に変化するところが要求されます。皆さん自身が、皆さん自身の責任で、人生観や価値観を築いていくことが必要です。

二つ目は、「高校生として、人と人の適切な距離感を身につける」ということです。

「ヤマアラシのジレンマ」という言葉があります。ヤマアラシの体には長くて鋭いとげが、たくさん生えています。敵に襲われたときに身を守るための大切なとげです。

「寒い冬の日、二匹のヤマアラシが暖を取ろうと互いの体を寄せ合おうとしたところ、身体のトゲが互いを刺してしまいました。痛みから身体を離すと、今度は寒さに耐え切れなくなってしまう。二匹は近づいたり、離れたりを繰り返しながら、ついには互いに傷付けずに済み、互いに暖め合うことができる距離を発見し、その距離を保ち続けました。」

この話は、友達・親子・同僚関係など、人間同士が互いに仲良くするコツを教えてください。人間同士が仲良くなるためには「近づ

くこと」が絶対条件となりますが、近寄りすぎると互いの考え方の違いから緊張感にさいなまれ、反発が起きることがあります。ところが離れすぎてしまうと疎外感が生まれ、違和感を抱いてしまいます。ヤマアラシのジレンマとは「どうすれば上手に心の距離を取れるのか、うまくコミュニケーションを取るにはどうすればいいのか?」といった人間が抱えやすい問題を指す言葉として使われます。

加えて、もう一つ大切なことがあります。人間の体にはトゲがありません。しかし、場合によってトゲになる可能性があるものを持っています。それは口から出る言葉です。「トゲのある言葉」が口から出ると、相手を突き刺してしまいます。相手の気持ちを考え、傷つけないような言葉を使うことも「人と人の素晴らしい距離」を保つ秘訣です。

生徒の皆さん、近畿大学附属新宮中学校の修了生として、「義務教育の場を与えていただいた保護者の皆様をはじめまわりの方々に感謝する」、そして「自分の責任で、主体的に学問する」、「人と人の適切な素晴らしい距離感を身につける」という決意を胸に、自信と誇りを持って、高校生活を送ってください。高校入学後、学習面においてはもちろん、部活動、学校行事において、リーダーシップを発揮し、しっかりと学校を牽引する柱となるよう期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様に、今後とも更なる教育活動の充実発展のためのご協力をお願い申し上げます。修了生の限らない前途を祝福し、式辞といたします。

令和六年三月二十二日

近畿大学附属新宮中学校

校長 池上 博基

感謝の言葉

三年A組 中平 妃夏

あたたかな日の光が草花を優しく照らし、時折なびく風は日に日に春らしさを運ぶ今日この頃。本日、私たち四十六名は卒業の日を迎えます。まず、本日は私たちのためにこのような荘厳ですばらしい修了式を挙行していただき、修了生一同深く感謝するとともに、お越しくださいましたご来賓の方々、諸先生がた、保護者の皆様に感謝申し上げます。

三年前の四月、まだ身になじまない制服を着て迎えた入学式は、不安と期待が入り混じり、緊張していたことを覚えています。まだ小学生気分のまま始まった中学二年生は、目の前のことを見るのに必死であっという間に過ぎ去り、中学二年生となりました。二年生になると、少しずつ学校生活になじみ、同級生とも仲が深まって、みんなのことが少しずつわかり始めました。修学旅行では、新型コロナウイルス感染症が少し落ちてきた頃に、二泊三日で四国方面に行きました。みんなまで過ごした三日間は、さらに絆が深まるきっかけとなりました。そして三年間毎日着た制服は、もう身になじみ小さく感じるようになりました。夏休みが過ぎ、やってきた文化祭での劇では全力で出しきり、結果にうれし泣きしたことが忘れられません。

この三年を思い返すと様々な思い出が目に浮かびます。しかし特に印象深く残っているのは、同級生との情景です。放課後にたわいもない話で笑ったり、文化祭の買い出しに友だちと暑い中を歩いたり……。私の思い出はすべて友だち同士で笑いあっている情景ばかりです。この三年間の私は、本当に幸せでした。かけがえのない大切な仲間たちと出会い、大切な思い出を作れました。みんなありがとう。時にはぶつかったり、悔しがったりしたこともありましたが、いま思うとそれもいい思い出となっています。

また、私たちに熱心にご指導してくださった先生がたには、心から感謝しています。先生がたはいつも、わからないところがあればわかるまでずっと寄り添いながら教えてくださいました。勉強面やクラブ活動でも私たちに指導してくださった先生がたは、私たちのために一生懸命に向き合ってくださいました。先生がたのおかげで、私たちは大きく成長することができました。本当にありがとうございました。そして、何よりずっと見守り支えてくれた家族のみんな。いつも自分勝手なことばかり言って本当にごめんない。誰よりも私のことを

考えてくれ、溢れんばかりの愛情を十五年間注いでくれてありがとう。今の私がいるのは家族のおかげです。

いま思い出するのは三年前の母の言葉です。三年前、母は「この学校で何をしたいのか」と私に問いました。三年経った今、ようやく答えが見つかりました。今の私を誇りに思ってもらうためです。私はこの学校でたくさんのお話を得て、成長できました。お母さん、今の私は誇れる娘として映っていますか。尊敬する母の誇りになれることは、私にとって何より嬉しいことです。これまで支えてくれた大切な家族へ私ができることは、成長していく姿を見せることだけです。私たちは、これからも前を向き、夢に向かって走り続けます。きっとこの先、迷惑を掛けることもあると思います。どうか見守っててください。私たちが一人で歩いていける日までよろしく願います。

これから桜が咲き、また季節は移り変わりますが、私たちの絆は変わらず色あせないことでしょう。そして、これから一人一人新しい道を一歩一歩進んでいきます。一、二年生のみなさん、今日は私たちのために参列してくれてありがとう。どうか人を思いやり、支え合うことを大切にして、この先を引っ張って行ってください。

最後に、近畿大学附属新宮中学校のさらなる発展を願い、感謝の言葉といたします。

先生方から贈る言葉

三年A組 担任 吉岡 直美

中高一貫三十一期生の皆さん、義務教育課程の修了、おめでとうございませう。

皆さんと過ごした三年間は、とても刺激的で密なものでした。一、二年の頃は友達との距離感が上手くつかめずによく揉めていましたね。一人ひとりが必死に戦っていたように思います。三年生になると、ギスギスしたものが少しずつ落ちついてきて、お互いの個性を理解し合おうとしていましたね。皆さんの成長が嬉しくて「人ってすごいな」と勝手に感動しています。

今年の近大新宮祭の劇も素晴らしかったですね。「命の尊さ」「平和」について真剣に考えた脚本、演出だったと思います。劇の本編に入るまでの映像から、エンディングの合唱まで、もちろん途中の演技も含めて、全員が本気で協力して頑張りましたね。「中学三年生でもここまで出来るのだ」と示してくれて、本当に誇らしかったです。やり終えた瞬間のあの感動は、今でも鮮明に覚えています。最後の映像を映す場面で吉岡がミスをしてしまいました。皆さんが許してくれました。その優しさにも感謝です。

四月から高校生としての生活が始まります。時には壁に当たることもあるでしょう。でも、へこたれずに前を向ってくださいね。皆さんには、一緒に考えてくれる仲間がいます。未知なる可能性があります。立ち止まってもいいので、自分を諦めないでくださいね。いつでも応援しています。

10000 回だめで へとへとになっても

10001 回目は 何か 変わるかもしれない

(DREAMS COME TRUE 『何度び』より)



文化功労特別賞

三年B組 担任 寺岡 将大

中高一貫三十一期生の皆さん、義務教育課程の修了、おめでとう
ございます。

中学三年間、このコロナ禍の期間を共に過ごし、お疲れ様でした。困難な状況下での中学校生活となりましたが、逆境を乗り越える力と強さを身につけましたね。挫折や試練があっても、それを乗り越えること、毎日の小さな努力が大きな成果につながります。これからも夢に向かって一歩ずつ前進し続けてください。成功は継続の積み重ねから生まれます。

四月から新たなステージへの道が開かれます。これからも得た知識と経験を武器に前進してってください。未来に向けて、夢や目標を追い求める姿勢を忘れずに。皆さんが持つ強さと希望は、未来を明るく照らすものとなります。

最後に、中学校生活を一緒に過ごし、関わった人への感謝を忘れずに。これからもそれぞれの道を歩んでいく中で、友情や絆は変わることなく続いていくでしょう。

どんな時も応援しています。
これからも頑張ってください！

三年副担任 堀 周平

中学校修了おめでとうございます。

副担任として関わらせていただいたのはこの一年間だけでしたが、授業・行事でみなさんと関わるのが毎日楽しみでした。みなさんから元気をもらって、私も毎日頑張れたように思います。

来年度からは高校生です。『大人』になる準備期間です。周りの人たちに支えてもらいながらですが今までは違い自分で判断すること、自分で責任を負うことが増えるでしょう。周りの人たちに頼りっぱなしではなく、私生活、学校生活ともに自分自身で考えて行動できるようにしましょう。そのために、少しだけでも、本当に小さなことでもいいので習慣を変えましょう。
充実した高校生活を送ってください！

B組 寺地 優太

皆勤賞

A組 江崎 奏太

坂野 里紗

中平 妃夏

B組 小倉 夕佳

寺地 優太

西坪 淳哩



後輩からのメッセージ

《サッカー部》

三年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。
先輩方のおかげで日々楽しく部活動に専念することができました。試合では先輩方が一生懸命頑張っている姿を見てかっこいいと思いました。僕たちも先輩方のように後輩の手本として尊敬される存在になれるように頑張っていきます。

《なぎなた部》

三年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。私たち後輩から見ても、先輩方はすごく親しみやすい存在で、何でも相談できて、いつでも寄り添ってくれる先輩方でした。

時には厳しい言葉をいただくこともありましたが、その言葉があったから、今私たちは成長することができています。先輩方から教えていただいたことを、これから入ってくる後輩たちにもしっかりと伝えていきたいと思っています。

高校に入って忙しくなると思いますが、頑張ってください。私たちも先輩方のような先輩になれるよう頑張ります。
ずっと応援しています。

《女子バスケットボール部》

ご卒業おめでとうございます。

新人戦や郡大会だけでなく、普段の練習から部員の先頭に立ち、バスケット部を引っ張ってください、ありがとうございます。引退されてからも練習や大会など応援に来ていただいたとき、とても嬉しかったし、心強かったです。先輩が支えてくださったように、自分たちもバスケット部をしっかり支えられるように頑張ります。

これからの高校生活が充実し、素敵なものになることを心から願っています。本当にありがとうございました！

《男子バスケットボール部》

木村先輩、卒業おめでとうございます。
先輩は僕たちに楽しく、面白く対人練習をしてくれました。
先輩は、クラブ内でも常に一生懸命練習をしていて、その姿勢とても尊敬しています。
高校生になっても、体に気を付けてバスケットや勉強などを頑張ってください。いつでもバスケット部に声をかけてください。

《ソフトテニス部》

ご卒業おめでとうございます。
テニス部は部員数も少なく、できる練習メニューも限られていましたし、個人戦・団体戦も単独チームとして出ることはできませんでした。でも、少人数だったからこそ先生方のサポートも手厚く、個人のスキルアップもできたと思います。
この三年間で学んだことを活かし、高校生活も頑張ってください。

《空手道部》

ご修了おめでとうございます。
先輩からは練習の時にたくさんアドバイスをくれるなど、普段も優しく接してくれました。おかげで楽しい学校生活が送れ、色々な事を学べました。
僕達も先輩を見習えるよう、学んだ事を活かしこれからも頑張っていきたいと思います。
今までありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。

高校でも頑張ってください！

《茶道部》

三年生の皆さん、中学校修了おめでとうございます。
入部した頃から、何もわからなかった私達に優しく接していただきました。礼儀作法からお茶の点て方までとても丁寧に教えていただいたことがとても心に残っています。先輩方に教えてもらった皆さんの事を、今度は私達が、後輩に引き継いでいきます。
本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします！

《書道部》

先輩、中学校修了おめでとうございます。
私達は部活動でたくさんのお話を学ばせていただきました。先輩が入部されたときから、練習に励む姿勢や凛とした佇まいをとっても尊敬していて、憧れでした。短い間でしたが、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

《華道部》

ご卒業おめでとうございます。
先輩方は、いつも私をうまくまとめ引っ張ってってくれました。そして、いつも優しくその場を和ませ励ましたり、私たちができるまで一緒にいてくれたりしました。
ありがとうございます。

《美術部》（西浦先生より）

中学校修了おめでとうございます。
文化祭展示の大きなパネル作品の制作、読書感想画コンクールへの出品、入賞、三年間沢山の絵を描きました。
美術部史上、初めて作品の下描きをパソコンで描いてきた井戸沙也加さん。納得いくまで絵具を重ねて、重ねて、自分の世界を描いた谷川ひまりさん。大胆な構図をカラフルで鮮やかな色彩で表すのが得意な畑有羽梨さん。リズム感ある画面構成、モチーフの色彩が素晴らしい部長の齋藤はなさん。三年生の秋、商店街の依頼で、四人で特大サイズのハロウィンイベントの作品を完成させました。展示会場で仮装した姿を見て驚きました。

月曜日、火曜日の放課後の部活動で沢山の作品と思い出ができました。個性豊かな四人、高校生になっても、細心にそして大胆に行きましょう。

《メディア部》

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
部活動の際にはいつも私達をリードして下さいました。また、色々なことで相談にのっていただいたり、アドバイスをいただいたり、様々なことでお世話になり本当にありがとうございます。
中学校での体験や苦勞を活かして高校生活も素晴らしいものにしててください。

《吹奏楽部》

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
先輩方が優しく丁寧にサポートしていただいたおかげで、入部してから二年間が毎日楽しく、風のようにはやく過ぎていきました。廊下ですれちがうと、いつも明るく笑顔で手を振って話しかけてくれ、コンクールの練習では、一心不乱に取り組んでいる姿がかっこよく、私たちの最高の憧れでした。他にも、相談する時は親身になって話を聞いてくれたり、礼儀やマナーなどを事細かに私たちができるようにしっかりと教えてくれたりと、私たち後輩が先輩方の背中を見て学ぶべきことは数多くありました。

高校生になると今より会う機会が減ってしまうかもしれませんが、これからもよろしくお願ひします。

《スーパーサイエンス部》

この度は、中学修了おめでとうございます。
二年間あまり話しませんでしたが見ていたことになることばかりでした。合宿ではお話ししてください、ありがとうございます。
もし、高校スーパーサイエンス部に入らなくても、日常にお話しできるような関係になれば嬉しいです。

来年は先輩方がいなくなると寂しくなりますが、学年関係なく仲の良い部活を作れるように頑張ります。

今まで本当にありがとうございます。

《ダンスサークル》

三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。
先輩方が優しく教えてくださったおかげでダンスサークルに入部した時からずっと楽しく部活動することができました。振りが分からないときも丁寧に教えてくださったので、できなかったこともできるようになり、成長できたと思います。文化祭、ランチタイムコンサートなど皆さんの場面でお世話になった先輩方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございます。高校でも頑張ってください。